

## 麦類赤かび病の防除時期について

小麦や六条大麦の赤かび病の効果的な防除時期は、「開花始め」と「その10日後」です。

農業技術センターにおけるコムギの出穂期は、平年と比較して3日程度早くなっています（表1）。そのため、赤かび病の防除時期も平年より早くなると予想されます。

赤かび病の「子のう殻形成好適日」及び「子のう胞子飛散好適日」が認められます（表2）。気象庁の1か月予報（4月6日発表）によると、今後の気温は高く、降水量は平年並～多いと予想されており、赤かび病感染に好適な条件となる恐れがあります。ほ場の生育状況を確認し、**2回防除を徹底**してください。

表1 小麦生育状況

品種	出穂期 *	平年値 **	播種日
イワイノダイチ	4/4	4/5	11/7
さとのそら	4/7	4/10	
タマイズミ	4/6	4/9	

\* : 農業技術センターほ場（作物部調べ）

\*\* : 令和5年度主要農作物奨励品種特性表の値

表2 子のう殻形成好適日及び子のう胞子飛散好適条件発生状況

	子のう殻形成好適日 <sup>1)</sup>				子のう胞子飛散好適日 <sup>2)</sup>			
	R5	R4	H14	H10	R5	R4	H14	H10
3月26日		●			▲	◎		
3月27日		●			▲	▲	▲	▲
3月28日				●			▲	◎
3月29日			●				▲	
3月30日			●			△	▲	
3月31日			●			△	▲	
4月1日								▲
4月2日					△			▲
4月3日					△	▲	△	▲
4月4日		●			△	▲	△	
4月5日					△			
4月6日	●		●	●	◎	△	▲	◎

\* 岐阜市のアメダス地点データを基に作成（気象庁調べ）

- 1) 子のう殻形成好適日  
●：降雨直後（当日及び翌日）かつ平均気温が13℃以上であった日
- 2) 子のう胞子飛散好適日  
◎：濡れ条件と温度条件を両方満たした日  
▲：濡れ条件のみを満たした日  
△：温度条件のみを満たした日  
※ 濡れ条件：降雨直後（当日または翌日）または湿度が80%以上  
温度条件：最高気温が15℃以上かつ最低気温が10℃以上  
※ 平成10年は警報、平成14年および令和4年は注意報を発表した年度です。

・農薬の使用にあたっては、最新の登録内容を確認し、適正に使用してください。

農薬登録情報提供システム  
<https://pesticide.maff.go.jp/>

・当所のホームページに発生予察情報、病害虫調査データなどを掲載していますのでご活用ください。

岐阜県病害虫防除所  
<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>